

和歌山だよいい

平成20年
(2008) 9月号



白崎海岸 (2億5千万年前の石灰岩で出来た海岸で、その美しさは、万葉集にも詠われています。)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P11
3. お知らせ…………… P12～P14
4. ふるさと歳時記…………… P15



萩

白崎は 幸くあり待て 大舟に
ま 握しじ貫き またかえり見む
『万葉集』より

「 お祭り 」

暑い夏が過ぎて、いささか過ごししやすい季節になりました。県民の皆さんいかがお過ごしですか。

夏になると、各地で色々なお祭りがあり、時間の空いている限り行かせていただくことを楽しみにしています。各地ともお祭りの準備は大変です。数え切れないほどの人々の御努力で、各地の自慢のお祭りが維持されています。資金集めから、会場整理、それから出演、最後は後片付けと関係者の人々は本当に大変です。おかげ様で、地元の方々はもちろん帰省の人、観光客も楽しく過ごさせてもらいました。心から感謝したいと思います。

そのうちの1つ、今年で5周年を迎えた紀州よさこい祭り「おどるんや」は大いに盛り上がりました。このお祭りは、5年前和歌山の若い人々が「5年後に和歌山は変わる」という決意のもと、県庁や市役所にも頼らず、自分達の努力だけで始めたもので、まさに「がんばれば出来る」を絵に描いたような快挙であると思います。後が汚くならないようにゴミ拾いもきっちり工夫し、マナーを守って立派に運営されていました。公共機関には頼らないとはいえ、警察の方々も意気に感じ、協力し、県庁の有志諸君もボランティアで会場整理などに参加しました。踊りがダイナミックですから、若い人々ばかりかなと思っていたら、よく見ると元若者であった方々も、これから若者になるおちびちゃんも皆参加しておられました。このような催しに参加させていただくと力をもらえます。「おどるんや」で和歌山はがんばるんや。

和歌山県知事

仁坂吉伸



*このメッセージは、県広報紙「県民の友」（10月号）に掲載するものです

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●紀伊半島三県知事会議を田辺市龍神村で開催

・紀伊半島地域を構成する、和歌山県、三重県、奈良県の三県知事が一堂に会し、半島地域の共通課題について話し合う「第19回紀伊半島知事会議」が去る8月6日、本県田辺市龍神村の田辺市龍神行政局で開催されました。

・当日、会場前では、地元在住でチェーンソーアートの世界チャンピオン 城所啓二氏 によるパフォーマンスで荒井奈良県知事、野呂三重県知事をお出迎えしました。

・会議では予定時間をオーバーするほどの活発な議論が展開され、「交通体系の整備」、「過疎対策」、「移住・二地域居住の促進」などの8項目について合意がなされました。

・田辺市龍神村を開催地に選んだ理由は、「三重県、奈良県知事に和歌山県が有する良質な温泉を味わっていただきたい」との思いと、それ以上にこの地は移住・交流が盛んであり、都会からの移住者に元気を注入されているこの地域に触れていただきたいと考えたからでした。

・三県知事会議終了後、Iターンの方々と地元で生まれ育った方々、合わせて15名との懇談会が開催されました。

・会場には、パンやジャム、また手作り座椅子などの作品が展示され、日頃の活動や移住に至った経緯などについて懇談しました。三重県知事は「驚くことばかりでとても感動した」と、奈良県知事は「龍神村はすごい」と、ともに感嘆されていました。

・この日は龍神の温泉を堪能していただき、翌日には熊野古道に新しくできた宿泊施設「霧の郷“たかはら”」などを視察した後、最後に「熊野本宮大社」を訪れました。

・二日間にわたる日程で、三県知事が多くの課題について活発な意見交換ができたことも成果でありましたが、この地域の取り組みを発信できたことが大きな成果であったと思います。



(奈良県 荒井知事・和歌山県 仁坂知事・三重県 野呂知事)



(三県知事と、Iターン・地元で生まれ育った方々との懇談会)

● 仁坂知事が、ハンセン病療養所を訪問し、和歌山県出身の入所者の方と懇談
[8月27日岡山県瀬戸内市]

・現在、全国のハンセン病療養所には、和歌山県出身の方が22名入所されています。

・今回知事は、岡山県内の国立療養所邑久光明園の17名、国立療養所長島愛生園の3名の方々を訪問しました。最初に、それぞれの療養所の納骨堂において、亡くなられた方のご冥福をお祈りして献花を行いました。(写真)



・その後、それぞれの療養所で入所されている方々との懇談会が行われ、知事は「皆さんのためにも、自慢できる元気な和歌山を作るよう、しっかりがんばっています」等と話しました。

・入所されている方には、故郷和歌山をいつまでも思ってくださいように、「和歌山だより」をお送りさせていただきます。

● スターフライヤー関空羽田便の運休が中止に
● 8月28日には、急遽、国土交通省前田航空局長に関空2期事業の継続を要望

・先月は、燃油価格の高騰による関西国際空港の発着便の減便について、仁坂知事が近畿ブロック知事会会長として、日本航空(株)西松社長、全日本空輸(株)山元社長、冬柴国土交通大臣等に緊急に要望したことをお知らせしました。その成果として、スターフライヤーが運休を検討していた関空羽田便4往復が、全日空とのコードシェア(共同運航)で運航を継続することになりました。スターフライヤーは昨年9月14日に新たに就航し、「空白の5時間」と言われた関空発のフライトのない時間を解消しました。本県にはこの便が運休すると影響が大きかったので大きな成果となりました。そのほか、関空ロンドン便の運休を半年延ばすなどの成果もありました。

・この要望の際、冬柴国土交通大臣から地元も関空の利用促進にがんばって欲しいとの要請があり、仁坂知事の発案で近畿ブロック知事会において9月から11月を「関西国際空港利用促進月間」として関空の利用促進に重点的に取り組むことになりました。航空路線は利用客が減ると縮小されるので関空の利用にご協力をお願いします。

・また、平成21年度概算要求において、関空2期事業(駐機場などの2期島の整備)の建設事業費を国土交通省が要求しないことを知り、8月28日、急遽、国土交通省前田航空局長に2期事業の継続を要望しました。関空を関西が発展のための中核となる国際拠点空港にするには、長期的な視点から2期事業を推進する必要があります。

●企業立地促進法に基づき、国へ申請していた「紀中・紀南地域の基本計画」（南紀広域企業集積構想）が国の同意を受け、9月2日に二階大臣から同意書が交付

・「企業立地促進法」は、地域の特性・強みを生かした企業立地の促進を通して地域産業の活性化を目指すもので、紀北地域の「紀ノ川企業集積ベルト地域構想」（本年2月に国同意）に続き、紀中・紀南地域でも「南紀広域企業集積構想」として市町村などと共同で基本計画を作成しました。

・9月2日には二階経済産業大臣から国の同意書が仁坂知事に手渡され、電気・デバイスなどの製造業に加えて、紀中・紀南地域にある農林水産物や観光資源などの特徴ある地域資源を活かした企業誘致にも関係市町村等と力を合わせて取り組んでいくことを表明しました。

・これにより、指定集積業種に該当する事業者が紀中・紀南地域に工場を新增設する場合や事業高度化を図る場合に税の優遇措置や低利子融資などの支援策を利用することができます。

・今後は、1つ目として電気・機械・金属などの製造業、2つ目として情報通信関連産業、3つ目として農商工連携を取り入れた食料品製造業や木材・木製品製造業、その他の生活関連サービス業など、地域の資源を活かした企業誘致を進めていきます。その時に観光的要素も入れるとイメージなどのソフトウェアとしての価値が高まるため、工夫して活かしていくことも考えています。



（二階大臣から同意書を受け取る仁坂知事）

南紀広域企業集積構想



対象となる市町村（4市16町1村）
 有田市、御坊市、田辺市、新宮市、湯浅町、
 広川町、有田川町、美浜町、日高町、由良町、
 印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、
 上富田町、すさみ町、那智勝浦町、太地町、
 古座川町、北山村、串本町

指定集積業種
 ○地域資源活用型産業
 ～食料品製造業など
 ○情報通信関連産業
 ○電気、機械、金属関連産業

成果目標（平成24年次）

| | |
|-------------|------|
| 企業立地件数 | 29件 |
| 新規雇用人数 | 609人 |
| 製造品出荷額(増加額) | 75億円 |
| 付加価値額(増加額) | 31億円 |

●「2008 体験・学び・感動の修学旅行セミナー」仁坂知事がトップセールス
～和歌山県「ほんまもん体験」の修学旅行～
●「ほんまもん体験」が全国知事会の優秀政策として表彰されました

・仁坂知事が、和歌山県「ほんまもん体験」の修学旅行のトップセールスを8月22日に東京で行いました。旅行会社・学校関係者等126名を前に、知事は冒頭の挨拶と観光説明の中で、「和歌山はどのようなところか」「子どもと体験」「和歌山にはどのような観光資源があるか」「交通・宿泊」などの項目について説明し、子ども達に立派な大人になって欲しい、そのためには実体験を通じて物事を相対



的に見られるよう育てる必要があるのではないかと話しました。海・川・山の様々な体験ができる和歌山に来ていただいて、貴重な経験をして欲しいという思いを話しました。

・引き続き、文部科学省の宮崎視学官から新学習指導要領における体験活動の位置付けについて基調講演をいただき、その後、4月に修学旅行で来県した東京都立国立高等学校の矢崎教諭から和歌山での修学旅行の事例発表、さらに、「ほんまもん体験」プログラムのうち、「本まぐろ養殖体験」を実施している和歌山東漁業協同組合の吉田代表理事組合長が体験の魅力を紹介しました。

・講演等終了後、別会場において、県産品の試食会及び県内の修学旅行受け入れ団体が参加者に対して直接PR活動を行い、会場は熱気に包まれていました。

・なお、8月27日にはこのような修学旅行誘致に係る取り組み等が、全国知事会の先進政策創造会議で認められ、地域振興分野での優秀政策として表彰されたところです。

*「ほんまもん体験」を利用した観光客は02年に約10万人だったのが、06年には約29万人に増加しています。ほんまもん体験ホームページ <http://kanko.wiwi.co.jp/taiken/>

「ほんまもん体験を活用した修学旅行」に和歌山県を訪れた学校数

平成17年度 1校、平成18年度 5校、平成19年度 5校、

平成20年度（現在まで）13校

●県内全域でレジ袋の有料化への取り組みを始めました（県内ごみの排出削減へ）

・県では、レジ袋の無料配布中止の取り組みとして、学識経験者や事業者、市民団体、県と30市町村で「わかやまノーレジ袋推進協議会」を設置しました。

・都道府県内全域で無料配布中止は全国で4番目、近畿では初めての取り組みとなります。当初は、レジ袋の使用量が特に多い総合食料品スーパーでの一斉実施を目指し、県内全業者に協議会への参加を求めるとともに、削減目標、普及啓発の方法などについて取りまとめ、早ければ来年1月からの実施を目指します。

・現在、和歌山県でのレジ袋使用量は年間約2億5000万枚（2005年度）、総合食料品スーパーの使用量はその4割を占めており、年間約1億1千万枚に上りますが、今回の無料配布中止により6～8割の削減を目指します。

●第29回オリンピック競技大会（2008／北京）において、湯元選手（レスリング）が銅メダル獲得・上村美揮選手（体操）が体操女子団体総合で主将として活躍し5位入賞

・北京オリンピック（8月8日～24日の17日間）において、和歌山市出身の湯元 健一（ゆもと けんいち）選手が、レスリング（フリースタイル 60kg 級）で見事銅メダルを獲得しました。湯元選手は9月4日県庁を訪れ、仁坂知事にメダル獲得の報告を行い、知事から湯元選手には、国際的なスポーツ大会に出場し特に優秀な功績があったことを称え「和歌山県スポーツ顕賞」を授与しました。



・また、有田市出身の上村美揮選手（体操）が体操女子団体の主将を務められるとともに、跳馬において見事な演技を決め、女子団体総合5位に入賞の原動力になりました。

・お二人のご健闘に心から敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

- ◆「湯元 健一 選手」（和歌山市出身）
和歌山工業高等学校から、日本体育大学に進学し、現在、日本体育大学助手
- ◆「上村 美揮 選手」（有田市出身）
現在、朝日生命体操クラブ所属

●第4回和歌山県親と子どものためのきらめき“夢”トークを開催
～「科学技術の醍醐味」和歌山県工業技術センター 請川所長～

・請川所長は、125名の参加者を前に「専門家になればなるほど先入観が強くなります。だから全く違う分野の人と話をするとというのが、とても大事です」「生徒のみなさんの話を聞きたい」と広く物事を見聞きすることの大切さを話しました。

・次に、自分が学生時代に面白いと思った数学の問題をスライドで示し、なぜ面白いと思ったか体験を語られ、続いて、今から100年前に作られた「20世紀の予言」について、「100年前に予想されたことが、21世紀になって実現できたと思いますか、できなかったと思いますか」と生徒たちに問いかけながら説明されました。

・例えば、「神戸と東京の間を時速240キロのスピードで移動できる電車ができる」という予言は新幹線によって実現したことなどを面白く説明しました。



● 「企業の森」事業に新たな団体が参画（財団法人上山遺児育英会・田辺西牟婁電気技術者協会）

・和歌山県が進める「企業の森」事業に新たに「財団法人上山遺児育英会」と「田辺・西牟婁電気技術者協会」が参画することになり、県庁で「森林保全・管理に係る協定の調印式」を行いました。

・「企業の森」は県内で、現在38箇所あり、今回の上山遺児育英会と田辺・西牟婁電気技術者協会の参画で40箇所となります。和歌山県長期総合計画では、100箇所に増やす目標を掲げています。

（財団法人上山遺児育英会「未来の森」の概要）

- ① 財団法人上山遺児育英会
上山英介理事長（有田市出身・大日本除虫菊株式会社会長）
- ② 実施地の概要
有田川町糸川の山林 約1.92ha（民有林）
- ③ 実施計画
本年10月に植栽を実施し、以降10年間にわたって森林保全活動を行う。
 - ・植栽樹種及び本数
ヤマザクラ、クヌギ、ケヤキ、ヤマモミジ等 約3,800本
 - ・財団奨学生が植栽や下草刈り等の作業に参加

（田辺・西牟婁電気技術者協会「電気の森」の概要）

- ① 田辺・西牟婁電気技術者協会
会員29名、平成20年4月設立
- ② 実施地の概要
田辺市中辺路町小松原の山林 約1.63ha（民有林）
- ③ 実施計画
本年11月に植栽を実施し、以降10年間にわたって森林保全活動を行う。
 - ・植栽樹種及び本数
コナラ、ヤマザクラ、ヤマモミジ、ケヤキ等 約3,300本
 - ・協会の会員や会員の家族が植栽や下草刈り等の作業に参加

● 「熊野古道」と「サンティアゴ巡礼への道」との姉妹道提携10周年
「祈りの道 サンティアゴ巡礼への道と熊野古道」田辺会場オープニングイベントを開催

・「熊野古道」とスペイン・ガリシア州にある「サンティアゴ巡礼への道」の姉妹道提携が10周年を迎えたことを記念し、両巡礼道の世界的な認知度向上と巡礼道に携わる人たちの交流促進を目的とした国際観光共同プロモーション事業を展開しています。

・9月4日から約1週間、最初の会場である田辺会場では「祈りの道写真展」と題し、日本の写真家、六田知多氏がサンティアゴ巡礼の道を、スペインの写真家、ルイス・オカニャ氏が熊野古道を撮った写真展を開催し、両国のアーティストによる異なった視点から両巡礼道の魅力を見せてくれました。

・週末には、日本カミーノ・デ・サンティアゴ友の会の皆様にご協力をいただき、両写真家によるギャラリートークや巡礼道の魅力を語る座談会などを開催し、たくさんの方々にご来場いただきました。

・9月のパリ会場、10月のサンティアゴ・デ・コンポステーラ会場に続いて、12月から3ヶ月間は東京国際フォーラムの相田みつを美術館において、「祈りの道写真展」と様々な催しを予定しております。

● 和歌山県産うめに関するサッポロ飲料（株）との取り組み
～うめ振興に係る産学官連携事例～

・和歌山県（和歌山県工業技術センター）とサッポロ飲料株式会社（本社 東京都渋谷区代表取締役社長 鈴木 英世）は、近畿大学先端技術総合研究所（海南市）の三谷 隆彦 教授及び同大学生物理工学部（紀の川市）の矢野 史子 教授と共同して、「梅の機能性」について研究を進めてきました。

・また、こうした取組に加えて、全国における和歌山県産うめの認知向上とその利用促進を図るため、本県とサッポロ飲料株式会社は、企画段階から県産うめを使用した新商品開発に取り組んできました。

・こうした取組の結果、サッポロ飲料株式会社から紀州産南高梅を使用した飲料「カラダにおいしい梅 とろり梅」（350ml・果汁10%・150円（税抜き））が、9月29日（月）に発売されることとなりました。

・なお、この新商品は県産品を活用して県と共同開発した商品であることについて、消費者が容易に識別できるようパッケージにロゴマーク（和歌山県章と和歌山県協力商品の文字）が付されて販売されることになっています。



「カラダにおいしい梅」Web サイト <http://www.sapporo-inryo.jp/ume/>

※本商品に関する上記Webサイトの更新は発売日である9月29日を予定しております。

商品の詳細に関しましては、サッポロ飲料HPのニュースリリースをご参照願います。

● 大手飲料・食品メーカーでの和歌山県産品が使用されている商品のご紹介

・和歌山県では、アクションプログラム2008「和歌山県農林水産物・加工食品の販売促進戦略」を策定し、わかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的に量販店のPB商品開発や首都圏レストランへの食材提案等の取組を行っていますが、大手飲料・食品メーカーに対してもわかやま産品採用に向けての取組を推進しているところです。

・現在、県産品が採用された商品（和歌山県産、紀州産などの表示付き）を紹介します。（次ページをご覧ください。）

| 県産品 (原材料) | 企業名 | 商品名 | 備考 |
|--------------|---------------|--------------------|----------------|
| うめ | サントリー(株) | 特選紀州産南高梅 | |
| | | 南高梅酒 | |
| | | -196℃凍結南高梅 | |
| | | -196℃ゼロドライウメ | |
| | | チャーハイカリ。 | |
| | | ブランデー仕込み5年貯蔵熟成梅酒 | |
| | | 小梅ソーダ | (株)ロツテとの共同開発製品 |
| | (株)伊藤園 | 梅涼み | |
| | アサヒ飲料(株) | 日本品質 紀州南高梅 | 三ツ矢サイダー |
| | キリンホールディング(株) | あらごしにごり梅酒 | メルシャン |
| | サッポロ飲料(株) | 梅で元気 | |
| | | 梅の天然クエン酸 | |
| | | とろり梅 | 9/29発売 |
| | カルピス(株) | 梅の酢&カルピス | |
| | カルビー(株) | 夏ポテト紀州の南高梅 | |
| | (株)湖池屋 | すっぱムーチョさっぱり梅味 | |
| | カバヤ食品(株) | 紀州うめプレッツェル | |
| | 亀田製菓(株) | 亀田の塩うめ | |
| | | 紀州梅のり巻 | |
| | (株)日東あられ新社 | 梅のり巻 | |
| | ホンダ製菓(株) | 梅あげせん | |
| (株)ロツテ | 小梅 | | |
| (株)リボン | 生梅飴 | | |
| カンロ(株) | 海苔と紀州梅のはさみ焼き | 山本海苔店と共同開発製品 | |
| 中野物産(株) | おしゃぶり昆布梅 | | |
| (株)大森屋 | お茶漬亭 | | |
| 浦島海苔(株) | こだわり三味 お茶漬け | | |
| みかん | アサヒ飲料(株) | 和歌山みかん100 | |
| | カルピス(株) | フルーツカルピスわかやま産温州みかん | |
| | 山崎製パン(株) | ランチパックみかん | |

・また、キリンビールの「選ぼう ニッポンのうまい 2008」に和歌山県のプレゼント対象商品は「紀伊勝浦産まぐろ」が選定されました。

・今回選定された「紀伊勝浦産まぐろ」は、那智勝浦町に本社がある(株)脇口水産で製造された「海桜鮪(かいおうまぐろ)」という冷凍鮪です。最新の冷凍技術で、家庭用冷蔵庫で1ヶ月以上の保存が可能なおうえ、簡単解凍、簡単調理で味・色・肉質・食感生マグロとまったく同等のものが味わえるという逸品です。

・このキャンペーンは、2005年から実施されており、今回で5回目になります。47都道府県の名物食材や話題の一品が賞品に採用されており、全国でも注目のキャンペーンとなっています。



●リサイクル図書寄贈ボランティア活動始めました（子ども読書応援団）

・和歌山県内の公立小中学校・特別支援学校の読書活動を支援するため、皆さんに、読み終えた図書を寄贈していただくボランティア活動を呼びかけます。（9月9日から開始）

概要については下記の通りです。

1 寄贈図書について

(1) 寄贈図書は、雑誌、コミックマンガ以外の小学生又は中学生対象の本とする。

- ・小学校へは、小学生向け、中学校へは、中学生向け、特別支援学校へは、小学生・中学生向け

(2) 寄贈図書の数量は問わないが、汚れや破損のある本は除く。

(3) 寄贈図書の取扱い（廃棄を含む）は、学校に一任。

2 寄贈先学校情報について

(1) インターネット利用の場合

- ・和歌山県教育委員会ホームページトップページの“[リサイクル図書寄贈ボランティア活動](#)”により、リサイクル図書を希望する学校の情報を検索する。

(2) インターネットを利用しない場合

- ・和歌山県教育委員会生涯学習課 073-441-3722（9:00～17:45）に問い合わせる。

3 寄贈手順について

(1) 寄贈者は、学校へ直接電話するか又はメールで、寄贈意思や冊数、配送方法等を伝える。

(2) 配送は寄贈者が行うことを基本とする。

【例】・学校へ寄贈者が持参

- ・学校へ配送（送料は寄贈者負担）

4 図書希望学校数について

- ・現在の希望学校数は県内の70校。（登録準備中も含む）

*詳細については和歌山県教育委員会生涯学習課073-441-3722へお問い合わせ下さい。

●「こころの健康相談統一ダイヤル」を開始しました

・県では、ストレスの多い現代社会において、「うつ病」など心の病気の方が増加している中で、「こころの健康づくり」推進による自殺予防の観点から、より多くの方が相談しやすい体制の整備を図るため、「和歌山県こころの電話」に内閣府が勧める全国共通の電話番号を設定します。

・和歌山県内から固定電話及び携帯電話で、全国共通の電話（0570-064556）に電話すると和歌山県精神保健福祉センターの「和歌山県こころの電話」に接続されます。

・「統一ダイヤル」が全国的に広報されることにより、こころの健康相談窓口が更に周知され、こころの悩みをもちながら相談先がわからなかった方の相談にも対応できることとなります。

・統一ダイヤル設定は、和歌山県を入れると、全国で9道府県となります。

（北海道、宮城県、栃木県、長野県、愛知県、京都府、**和歌山県**、徳島県、福岡県）

●キャンドルイルミネーション in あらぎ島V.O.I. 2が開催

・9月6日、県下で唯一「日本の棚田百選」に選ばれた「あらぎ島（蘭島）」の畔に沿って、手作りの竹灯籠を設置し、1,700本のローソクが灯されました。今回、初めて現地を訪れた仁坂知事も、普段見ることの出来ない幻想的な夜の「あらぎ島」に感動した様子でした。

- ・このイベントは、旧清水町の有志により発足した「紀清の集い」が、昨年、悠仁（ひさひと）親王殿下1才の御誕生日を祝して、9月6日にキャンドルイルミネーション in あらぎ島を開催し、ローソクを灯したところ、大反響をよび今年も開催することになりました。
- ・「あらぎ島」は、有田川町清水地区の有田川沿いにある棚田で、車では阪和自動車道「有田IC」を降りて、国道480号を東へ約1時間走ったところにあり、空気と水のきれいな山あいの清水地区の有田川の蛇行に沿って、大小の水田54枚が階段状の扇形に開かれています。
- ・対岸から見おろす「あらぎ島」は、春から夏は緑色、秋には黄金色と四季折々の美しい景観を創り出しており、観光客や写真愛好家など多くの人々が訪れています。また、あらぎ島は、「第4回美しい日本の村景観コンテスト」で農林水産大臣賞を受賞しています。

●（有）コバタ総合研究所が紀北橋本エコヒルズ「小峰台」へ進出

- ・和歌山県、橋本市の誘致企業として、奈良県五條市に本社がある（有）コバタ総合研究所の橋本市への新工場立地が決定し、進出協定を締結しました。
- ・（有）コバタ総合研究所は、高品質の丸剤サプリ、錠剤、顆粒、プロポリス関連商品等健康食品の受託加工、研究開発、販売を行っています。

※紀北橋本エコヒルズ＝橋本市隅田町、小峰台にある企業用地で、橋本隅田地区（（独）都市再生機構所有）と南海・林間田園都市「小峰台」（南海電鉄株所有）の2用地の総称

※プロポリス＝ミツバチが自身の分泌物と野外から採取した植物の樹脂などを練り合わせて作る混合物で、ローヤルゼリーや蜂蜜と違って採取できる量は非常に少ない。

【企業概要】

| | |
|---------|------------------------------------|
| 名 称 | 有限会社コバタ総合研究所 |
| 本 社 住 所 | 奈良県五條市二見3丁目5番9号 |
| 創 業 | 昭和58年4月 |
| 従 業 員 数 | 正社員25名、非正社員14名 |
| 業 務 内 容 | 丸剤、錠剤、顆粒、プロポリス関連商品等健康食品の受託加工、開発、販売 |

【進出概要】

| | |
|---------|------------------------------------|
| 事 業 所 名 | 有限会社コバタ総合研究所 橋本工場（仮称） |
| 進 出 場 所 | 南海・林間田園都市「小峰台」 |
| 敷 地 面 積 | 15,284.38㎡ |
| 投資予定額 | 2億5千万円（建物・設備） |
| 雇 用 見 込 | 新規地元雇用正社員16名（初年度10名） |
| 内 容 | 丸剤、錠剤、顆粒、プロポリス関連商品等健康食品の受託加工、開発、販売 |
| 操 業 開 始 | 平成21年1月（予定） |

●大塔金属工業（株）が工場を増設

- ・大塔金属工業株式会社が生産能力の増強を図るため、田辺市内に工場を新設することになりました。
- ・大塔金属工業株式会社は、1970年（昭和45年）に創業し、以後精密ネジ、自動車部品の製造、販売を行っている企業です。

【企業概要】

| | |
|---------|--|
| 名 称 | 大塔金属工業株式会社（株東工舎金属製作所の100%子会社） |
| 所 在 地 | 和歌山県田辺市鮎川1496-1 |
| 設 立 | 昭和45年10月 |
| 従 業 員 数 | 正社員59名 |
| 業 務 内 容 | ネジ、自動車部品の製造、販売 |
| 製 品 | 六角穴付ボルト、六角穴付止めねじ、六角スパナ グリースニップル、トーションバーその他自動車関連部品 |

【進出概要】

| | |
|---------|--------------------|
| 事 業 所 名 | 大塔金属工業株式会社 第4工場 |
| 場 所 | 和歌山県田辺市鮎川（本社工場となり） |
| 敷 地 面 積 | 1,933㎡増設（全体7,904㎡） |
| 雇 用 予 定 | 新規地元雇用16名（3年間） |
| 内 容 | 自動車部品及び、ねじの加工 |
| 操 業 開 始 | 平成21年3月（予定） |



和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

甘さと食感に感激！イチジクをお試しあれ！

いちじくの産地、紀の川市でJA紀の里営農指導員の大西さんに突撃インタビュー！

紀の川を見下ろす龍門山の麓、和歌山県紀の川市のイチジクの収穫は8月上旬から始まり、11月中旬まで出荷が続きます。今年の出来映えは、梅雨に雨が少なかったことで、実がしっかりして傷みがなく品質はいいですよ。

イチジクの果実はとてもデリケートなので、気温が上昇する午前8時頃までに収穫を終えて、等級別に選果し、昼一番に出荷します。早朝5時から収穫するので、イチジク農家はもう大忙しなんです。

おいしい食べ方は果頂部がぱっと割れた実を半分に分けて食べてもよし、軸から剥いて食べてもよし、この触感と甘さはわかやま産ならではの。皆さんにぜひ味わってほしいです。



龍門山をバックに、はいっ！

いちじくの収穫量、和歌山県は全国2位！

平成17年産和歌山県のイチジクの収穫量は、1,982tと全国2位(特産果樹生産動態調査)。主な産地は、紀の川市を中心とした紀北地域です(下図参照)。

紀の川市のイチジク栽培は、昭和50年頃にイチゴ栽培農家の収入源確保のために導入されたのが始まり。当時は栽培事例も少なく、生産者も試行錯誤の連続でした。現在では栽培技術も確立され、その代表する技術として、枝を一列に這わせて整枝する一文字整枝という独特な栽培方法が行われています(写真右)。



一文字整枝の園地

品種は「榊井(ますい)ドーフィン」がほとんどで、収量が多く、樹勢も強いという特徴があり、産地にとっては強い味方なのです。

(平成17年産イチジクの収穫量)

| 順位 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|-------------|
| イチジク 収穫量：t | 愛知 3,819.9 | 和歌山 1,982.0 | 福岡 1,692.7 | 兵庫 1,629.0 | 大阪 780.0 |



紀の川市フルーツキャラクター、じくぶる。和歌山産イチジクを応援！

いちじくの豆知識

イチジクは漢字で書くと「無花果」。花を咲かせずに実をつけるからといわれていますが、本当はイチジクに花がないわけではなく、果実の内側に花が詰まっており、外側からは見えただけなのです。美味しいイチジクをまるごと食べてしまう前に、ぜひ確かめてみてくださいね。

また、イチジクという読みは、「一熟」(いちじゅく)からきています。そのいわれは、1日に1果ずつ熟すから、一か月で実が熟すからとも言われています。



花がわかりますか？

美容と健康に、イチジクを！



イチジクには、カルシウム、マグネシウムのほか、食物繊維のペクチンが多く含まれているので、腸の活動を整える働きがあり、美容、健康食として注目の果物です。またフィンなどの消化酵素も多く含まれています。

そこで、健康メニューとしてお試しいただきたいのがイチジク生果入りヨーグルトです。作り方は簡単、皮を剥いたイチジクにヨーグルトをかけるだけのお手軽メニューです。

朝食メニューの1つに！

作ってみよう！いちじくレシピ

「イチジクの美味しい食べ方は？」と産地で聞いてみると、「そのまま。」と誰からも返ってくるほど生食はお墨付きの味なのです。完熟のものは皮が剥きやすく、甘くて果肉も柔らかい。新鮮なうちに食べてもらいたいけど、保存するなら乾燥を防ぐためにビニール袋に入れて冷蔵庫の野菜室に入れるとよいでしょう。

もちろん生が美味しいのですが、編集部いちおしメニューはイチジクのワイン煮、作り方は簡単です。

～イチジクのワイン煮～

- ① イチジク12個は皮を剥き、軸を切り落とす。
- ② 鍋にイチジクを並べ、赤ワイン、砂糖各1.5カップ、レモン汁大さじ2を入れて火にかける。紙ふたの真ん中に切り込みを入れ、イチジクにかぶせて中火で20分ほど煮て火を止める。
- ③ 鍋ごと冷水にとってあら熱をとり、冷蔵庫で冷やしておく。



食後のデザートに！

★南紀湯川温泉2008年10月限定 連泊&体験スペシャル
”湯ったり ステイ”特別キャンペーンを実施します！

「南紀湯川温泉」は1,400年の歴史を持つ良質の温泉。その湯と熊野古道歩きや漁村めぐりなど地域独自の魅力を活かした体験メニュー、「湯ったり ステイ」を企画しました。10月限定の特別キャンペーンでうれしいお得なメニューもたくさん。



南紀湯川温泉は、熊野詣の湯垢離場として開けた歴史があり、高浜虚子も滞在した由緒ある温泉で、ゆかし湯とは郷土の詩人、佐藤春夫が命名したものです。

- 連泊するほどお得な「朝食付連泊プラン」
(1泊(朝食付) 4,650円)
(2泊 " 8,300円)
(3泊 " 10,950円)
- 「毎日楽しめる日替わり体験メニュー」
- 「内湯・外湯入り放題パスポート券」

◆癒しのメニュー(日替わり体験メニュー)

- ① ゆかし瀉クイズウオーク
- ② 熊野古道大辺路ウオーク
- ③ 湯川温泉路地裏散歩
- ④ はじめてのヨガ
- ⑤ かんたん健康太極拳
- ⑥ 夏山海岸の美しい磯で大自然と遊ぼう
- ⑦ 漁具「ビン玉」飾り縄編み体験
- ⑧ 老舗の名店と漁村めぐり
- ⑨ 座禅・足湯 で身も心もリフレッシュ
- ⑩ 石がまパン焼き体験
- ⑪ 熊野曼茶羅絵解き

*日替わり体験メニューの参加費は、無料~1,000円



10月限定のキャンペーンです。(期間は10月1日~10月31日)

*お問い合わせ先は

那智勝浦町観光協会 0735-52-5311へ

また、日程等内容の詳細は、熊野エリア観光推進実行委員会公式サイト「熊野エリアWeb観光案内所」で。 <http://kumano-area.jp/>

～白崎海岸（クルージング、万葉和歌）・興国寺 由良町 ～

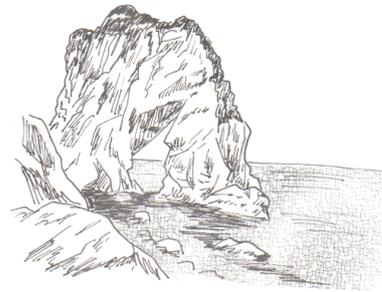
白崎海岸（県立自然公園）は、2億5千万年前の真っ白な石灰岩でできていて、その美しさは万葉集にも詠われました。

付近には約100mの戸津井鍾乳洞も。

この白崎海岸を海から眺めようというのが、「白崎クルーズ」。海猫が舞う紺碧の海を、漁船でクルージング。

真っ白な岩がその日の天候によって、その姿を変える様は、まさに絶景。空が曇れば暗い色になるし、夕日に染まればオレンジから赤に変化します。

ダイビングスポットとしても有名。日本の渚百選と夕日百選にも選ばれています。



立巖岩

万葉集

白崎の美しさに古人が詠んだ万葉和歌も多く、立巖（たてご）岩のところには、万葉歌碑が建てられています。本表紙に紹介させていただいた歌は、701年持統天皇の一行が白浜への行幸途中で詠んだものです。

興国寺

由良町には、鎌倉幕府三代将軍・源実朝の菩提を弔うため建立された興国寺があります。実朝の家臣であった葛山五郎景倫が建立しました。

後に法燈国師（覚心）に寄進。法燈国師は4人の居士を帰朝、その人たちが尺八を吹いてお布施をもらう、虚無僧（普化尺八）を全国に広めたと伝えられています。

今も、興国寺の行事には尺八の吹奏が行われています。

10月13日は開山忌法要が行われます。

また、興国寺は金山時味噌とそれを製造する時に出来た醤油の発祥地。日本一の大きさの魔除天狗もあり、1月15日には天狗祭りが行われます。



虚無僧

由良町ホームページ <http://www.town.yura.wakayama.jp/>

～編集後記～

【和歌山県インターネット放送局を開局】

8月号でもお知らせしましたが、「和歌山県インターネット放送局」を8月28日(木)に開局いたしました。

これは、より沢山の方々に和歌山県の魅力を知ってもらおうと、動画による情報発信を開始するものであります。

この「インターネット放送局」の特徴は、世界最大の動画共有サイト「Y o u T u b e (ユーチューブ)」を利用しているところです。都道府県が運営するインターネット放送局でY o u T u b eを導入するのは全国初の試みであり、20カ国で利用され、国内だけでも月間一千万人超の利用があるY o u T u b eに動画をアップロードすることで、多くのアクセスが期待されます。

なお、開局を記念して、本県出身の歌手坂本冬美さんによる特別メッセージ映像を配信しています。彼女が故郷・和歌山への熱い思いを語る、ここでしか見ることの出来ない映像です。県ホームページ「和歌山情報館」のトップページからアクセスできますので、読者の皆様も是非ご覧下さい。

【チャンネル構成】

- 1 c h ディスカバー和歌山・・・祭りや産品、地域イベント等を配信。海外向けも
- 2 c h 講演・講座・・・知事や著名人の講演録、映像版県政おはなし講座を配信
- 3 c h 知事記者会見・・・知事記者会見の様子を配信
- 4 c h 県広報番組・・・県広報番組「きのくに21」を配信
- 5 c h ものしり映像館・・・県立自然博物館の動植物・化石などを配信
- 6 c h ほんまもん体験・・・ほんまもん体験の紹介ビデオを配信
- 7 c h 世界遺産 高野・熊野・・・世界遺産 高野・熊野の映像などを配信
- 8 c h みんなの投稿チャンネル・・・視聴者から募集した動画作品を配信

「和歌山県インターネット放送局」のURL→ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/nettv>

知事室秘書課長 鈴木敏彦

★今月から「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしました。
Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援寄附

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2008年(平成20年)9月 NO.6

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022